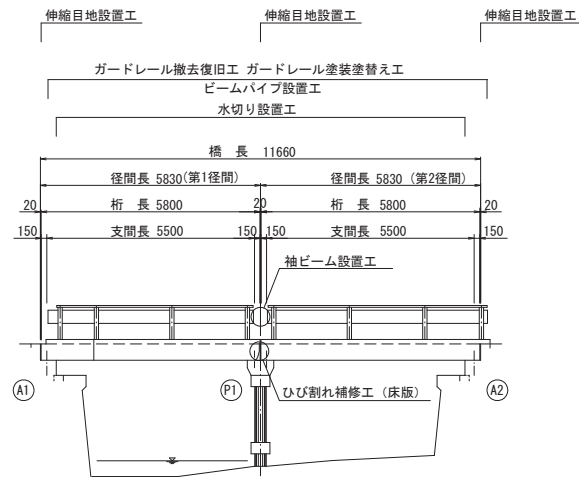


宮前橋 修繕工一般図

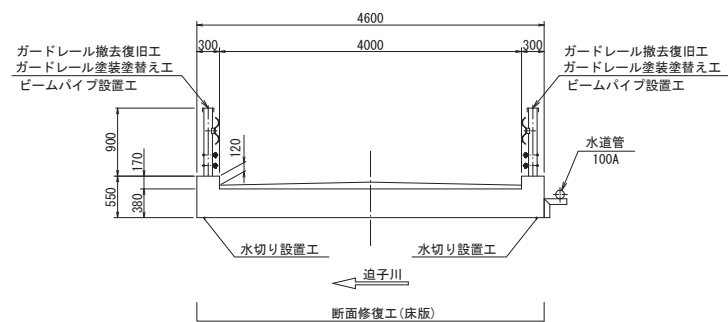
側面図

S=1:100



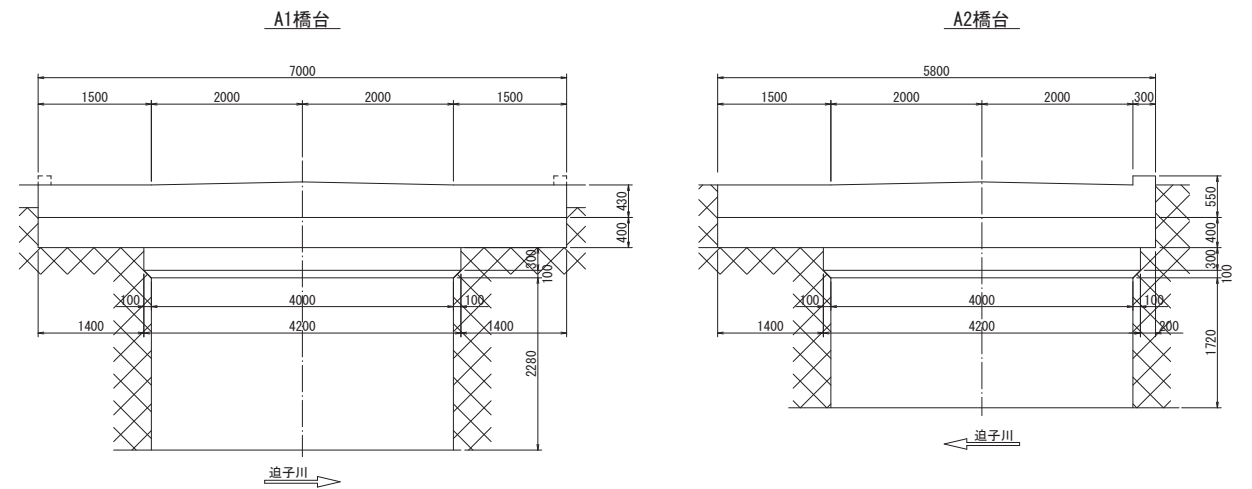
断面図

S=1:50



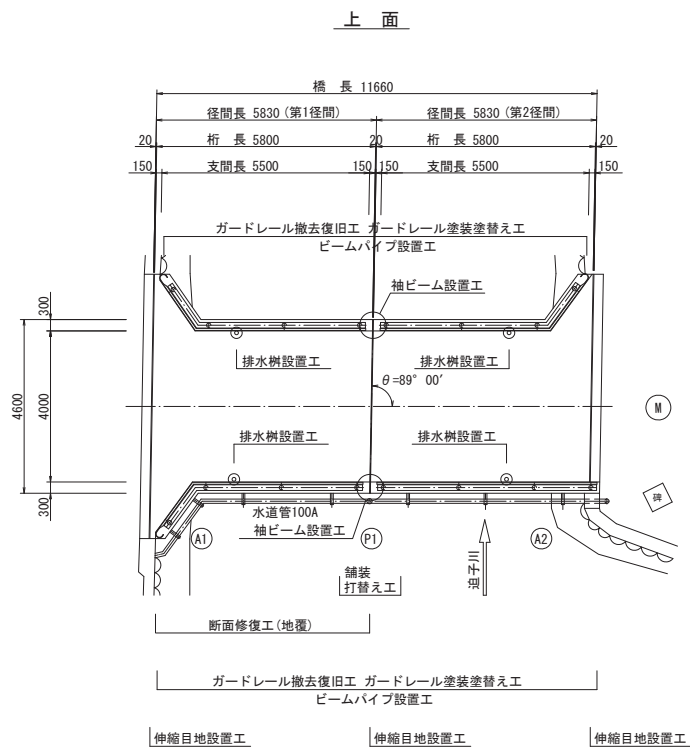
正 面 图

S=1:50

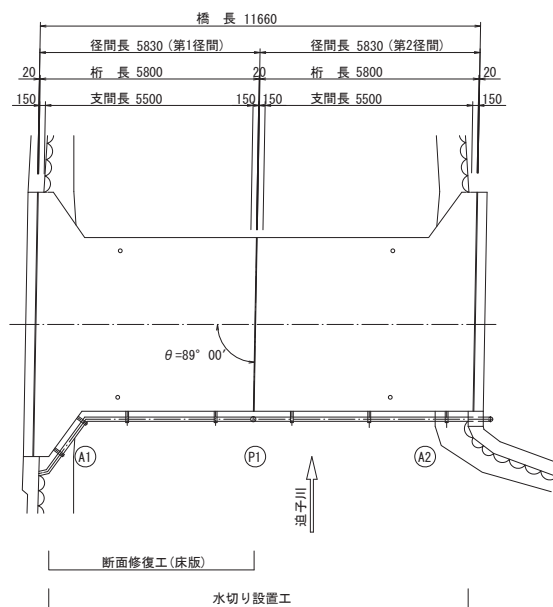


平面图

S=1:100

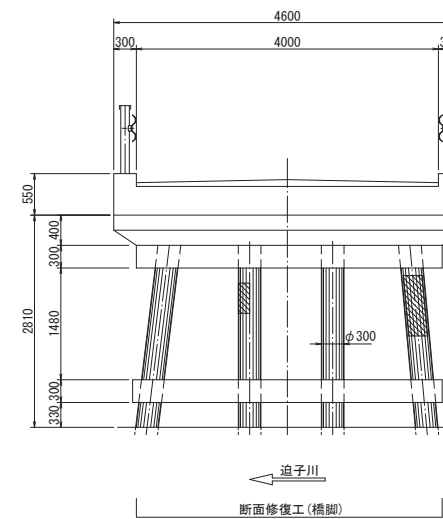


下 面



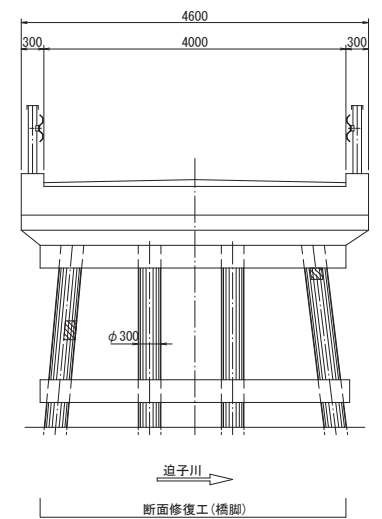
P1橋脚

(A1橋台側)



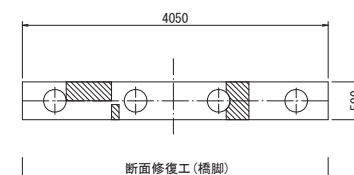
P1橋脚

(A2橋台側)



P1橋脚

(上梁下面)



設計条件

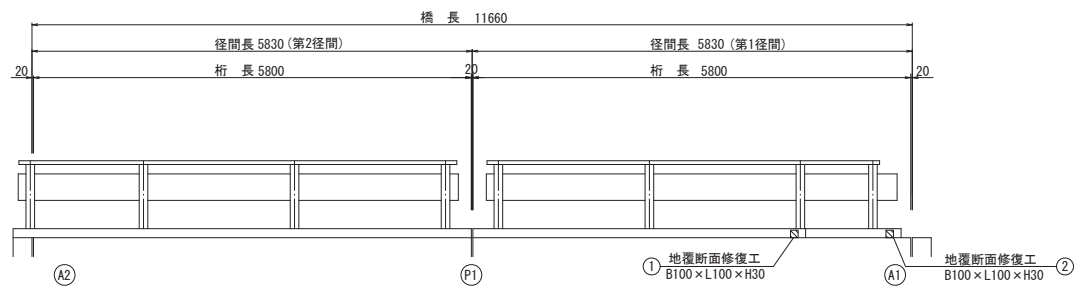
上 部	上部工形式	2径間 単純RC床版
	荷 重	T-20
	橋 長	11.660m
	桁 長	2@5.800m
	支 間 長	2@5.500m
	全 幅 員	4.600m
	有効幅員	4.000m
工	斜 角	左 89° 00'
	床 版	鉄筋コンクリート床版 t=380mm
	舗 装	コンクリート舗装 t=50mm
	支 承	-
下 部 工	橋 台	枕橋台
	橋 脚	パイルベント
	基礎	直接基礎
	橋脚	杭基礎

宮前橋 (市道追子2号線、浜島町追子地内)			
工 事 名	令和元年度 第21(26)01号 社会資本整備総合交付金事業 宮前橋他1橋 橋梁修繕工事		
図 面 名	修 繕 工 一 般 図		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	7 葉之内 1
会 社 名			
事務所名	志 摩 市		

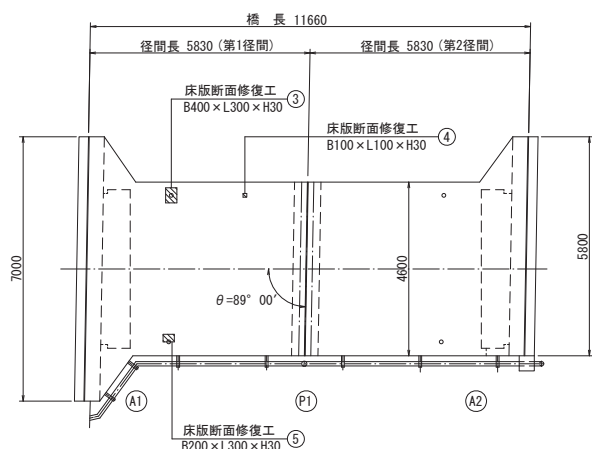
修繕工詳細図 (1)

断面修復工

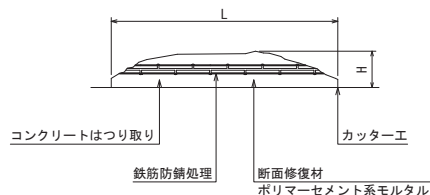
上流側地覆 側面区



展開図
【床版 下面】 S=1:100



断面修復工詳細図



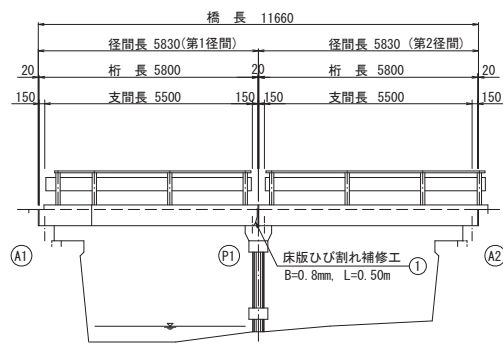
※ 断面修復については修復箇所周囲にコンクリートカッターを使用すること。
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。

※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・手法を確認すること。
施工位置・手法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。

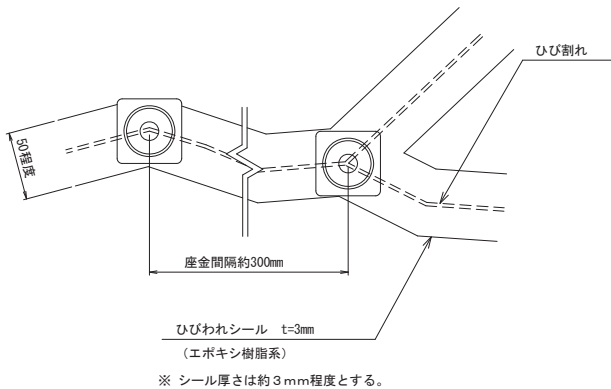
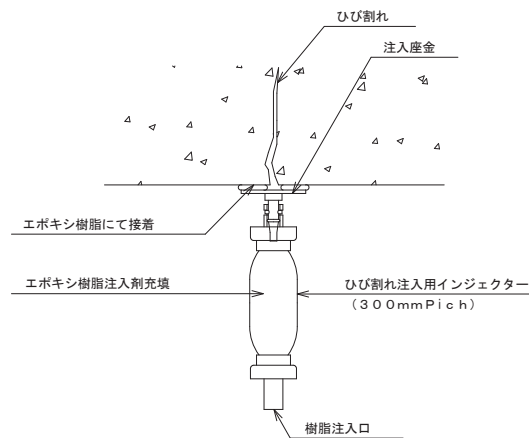
※ 鉄筋防錆処理については
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

ひび割れ補修工

側 面 図
(上流側) S=1:100



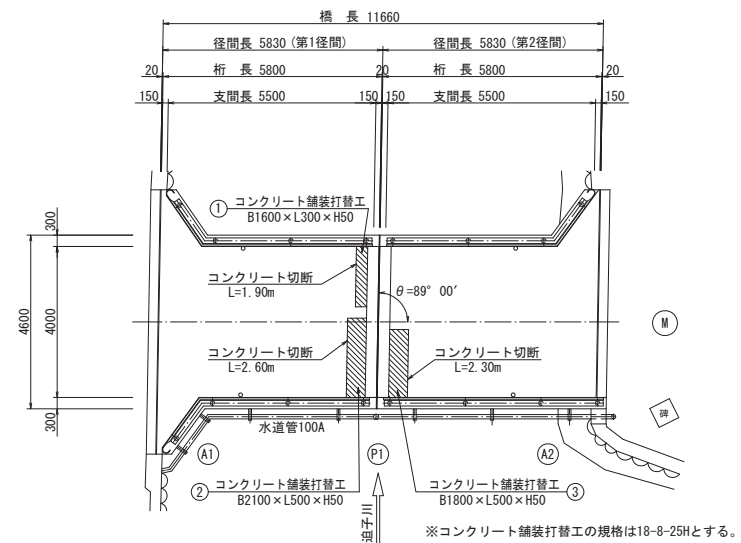
ひび割れ補修詳細図



鋪裝打替工

平面图

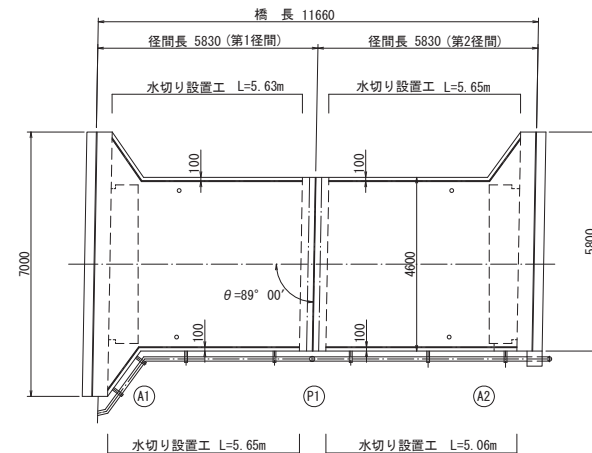
S=1:100



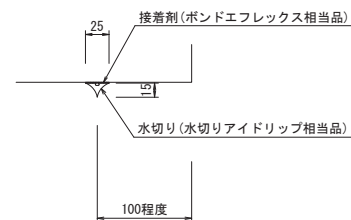
水切り設置工

平面图

S=1:100



水切り設置工詳細図



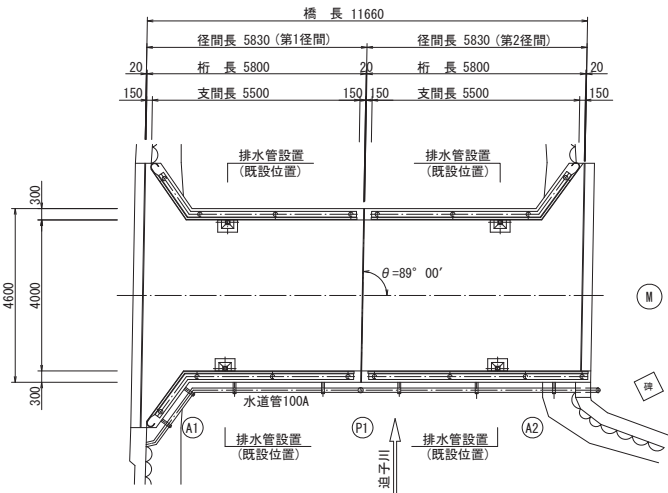
宮前橋（市道追子2号線・浜島追子地下地）				
工 事 名	令和元年度 第21次001号 社会資本整備総合交付金事業 宮前橋他橋1橋 橋梁修繕工事			
図 面 名	修繕工詳細図（1）			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	7	裏之内 2
会 社 名				
事務所名	志 摩 市			

修繕工詳細図 (2)

排水管設置工

平面図

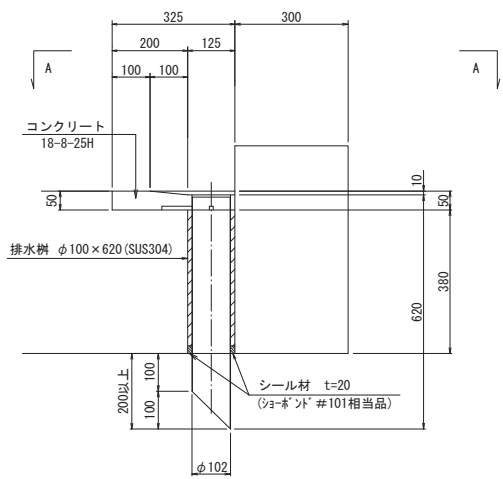
S=1:100



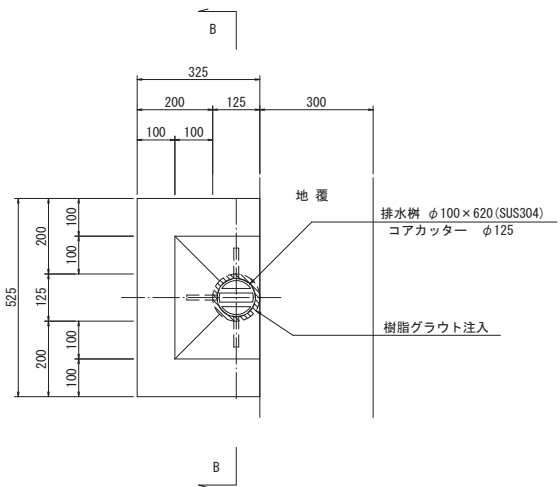
排水管設置工詳細図

 $S=1:10$

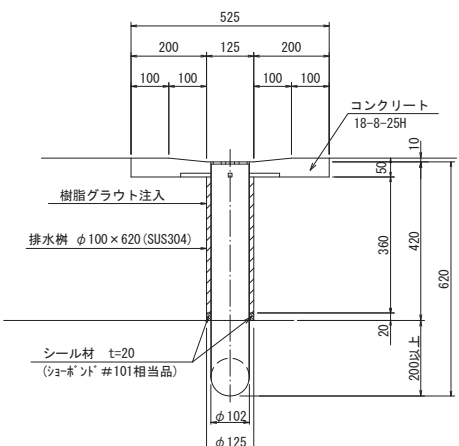
断面図



※コンクリートの打設面は粗面にすること。

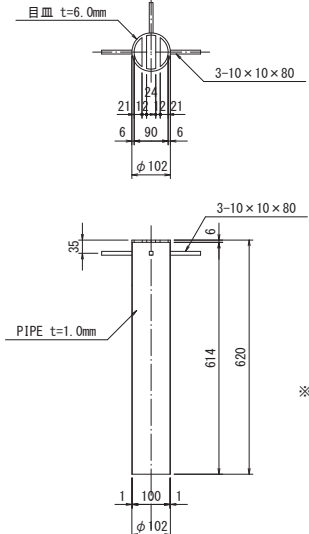
$$\underline{A - A}$$


B - B



排水桷詳細図

TSDR-BH相当品



1箇所当り

- 1- Pipe $\phi 100 \times 614$ (SUS304)
1- 目皿 (SUS304)
3- $10 \times 10 \times 80$ (SUS304)

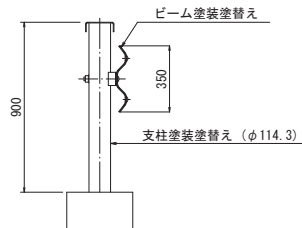
※1) t=2.0mm未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し、耐食性向上の措置を講じること。

2) また管の斜切りについては、地覆側が低くなるように排水柵を製作すること（A-A断面図参照）。

3) 施工にあたっては、事前に鉄筋探索を行い鉄筋を切断しないようにすること。

ガードレール塗装塗替え工

S=1 : 20



1-2

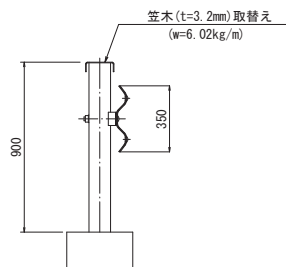
上流側	$L = 6.2 + 5.8 = 12.0\text{m}$	塗装面積	0.84	m ² /m
下流側	$L = 6.2 + 6.2 = 12.4\text{m}$	塗装面積	0.84	m ² /m

支 柱

上流側	N= 4+4 = 8本	塗装面積	0.323 m ² /本
下流側	N= 4+4 = 8本	塗装面積	0.323 m ² /本

ガードレール撤去復旧工

S=1:20



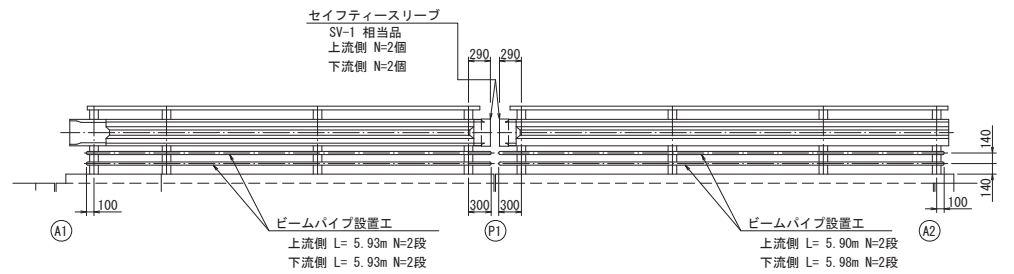
【撤去】

笠木 上流側 $L = 5.7 + 5.8 = 11.5$
 下流側 $L = 5.7 + 5.7 = 11.4$

【設置】

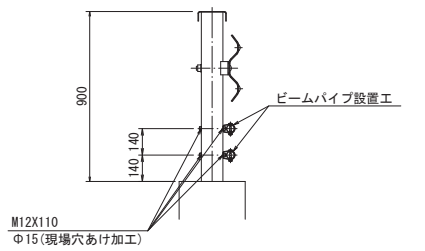
笠木 上流側 $L = 5.7 + 5.8 = 11.5$
 下流側 $L = 5.7 + 5.7 = 11.4$

側 面 図

$$S=1.5$$


ビームパイプ設置工

S=1:20



宮前橋（市道追子2号線・浜島町追子地内）

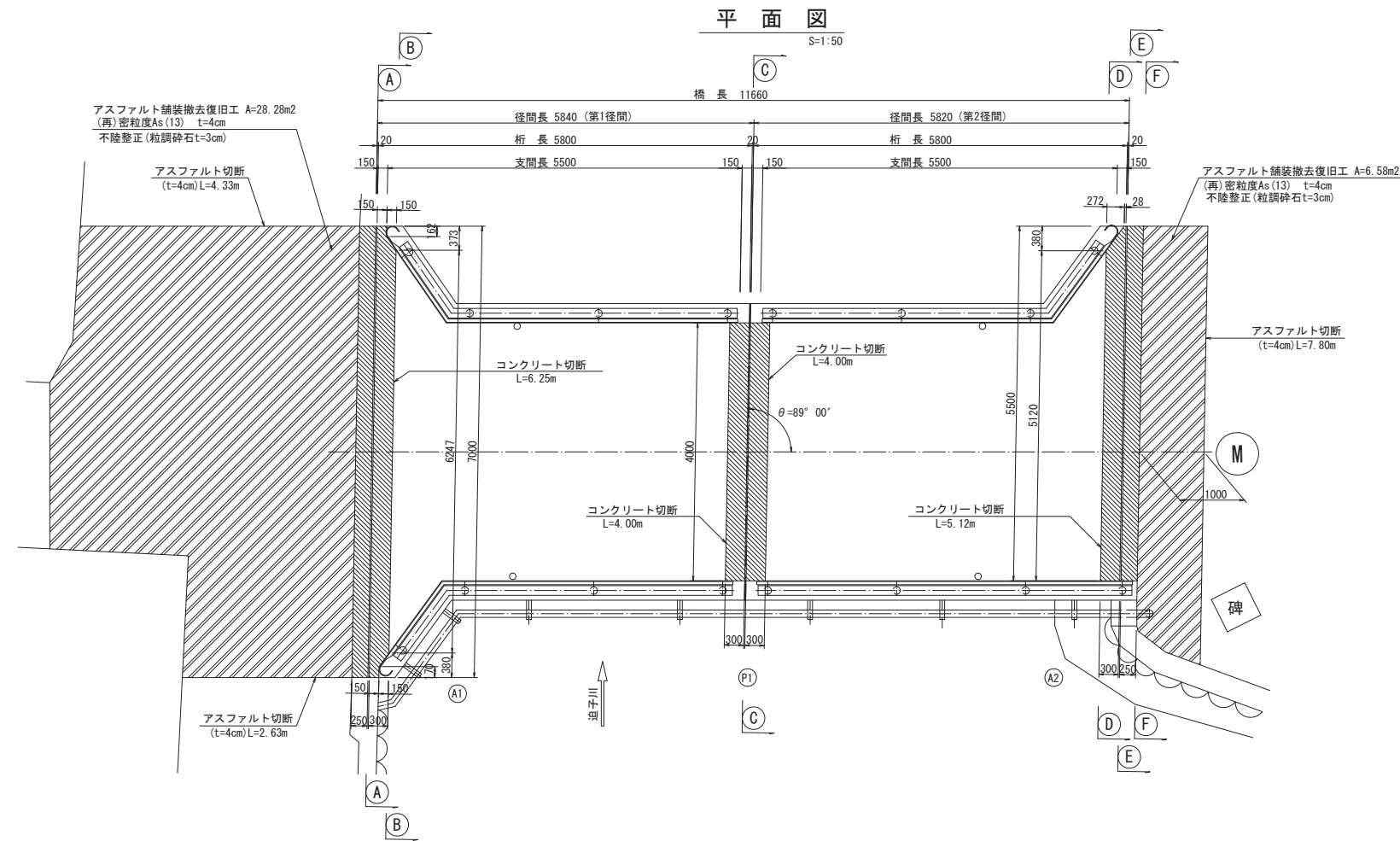
工 事 名	令和元年度 第2A1J5E001号 社会資本整備総合交付金事業 宮前橋他1橋 橋梁修繕工事		
図 面 名	修繕工詳細図 (2)		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	7 葉之内 3
会 社 名			
事務所名	志 摩 市		

注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。

2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

修繕工詳細図 (3)

伸縮目地設置工

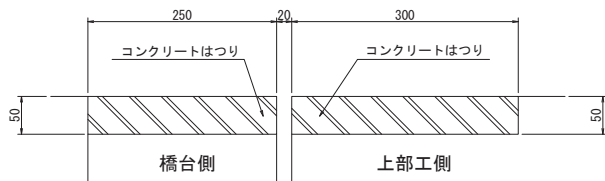


伸縮目地詳細図

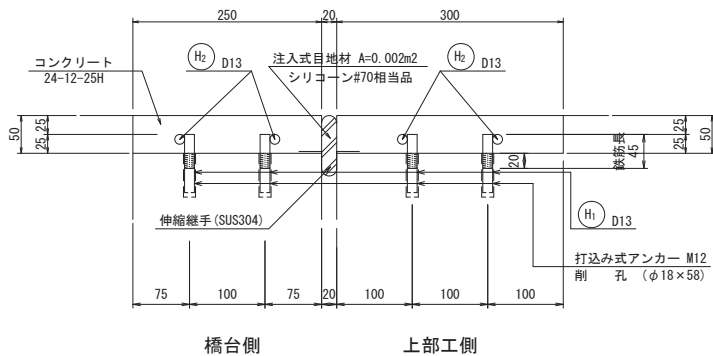
S=1:5

橋台部断面図

撤去時

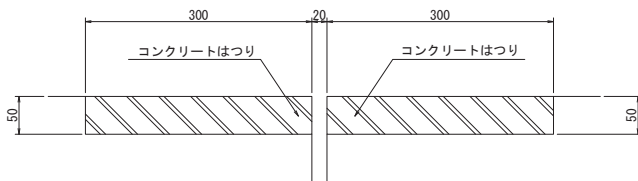


設置時

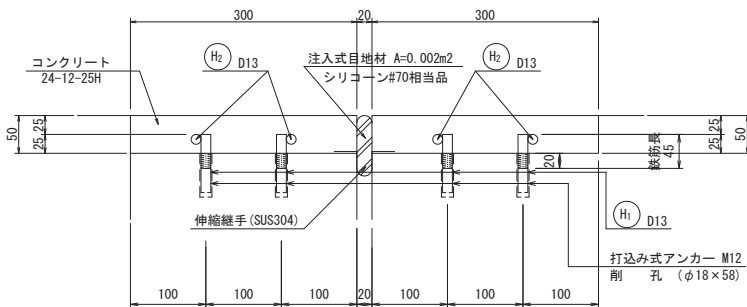


橋脚部断面図

撤去時



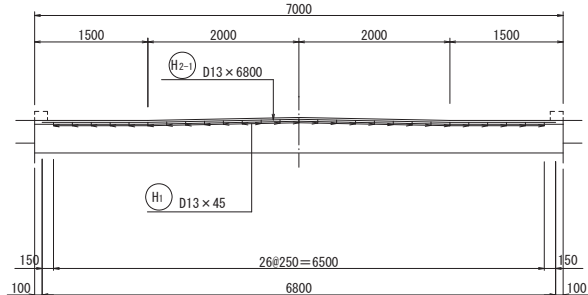
設置時



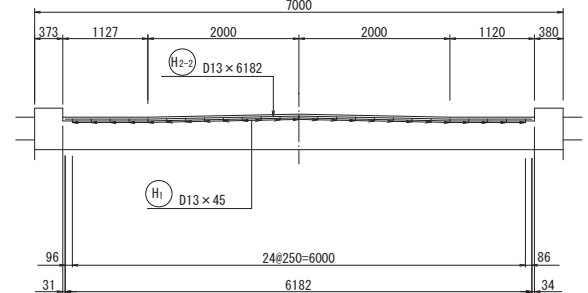
断面図

S=1:50

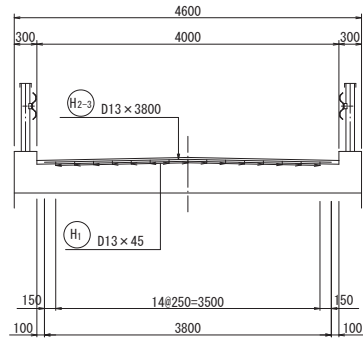
A1橋台
A-A



A1橋台
B-B

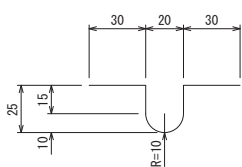


P1橋脚
C-C



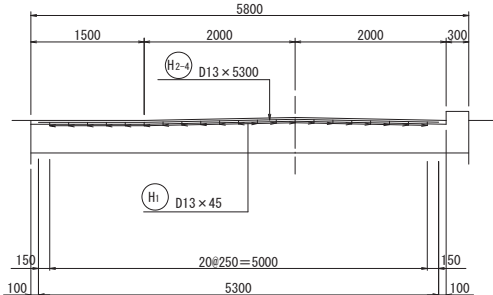
伸縮目地加工図

S=1:2

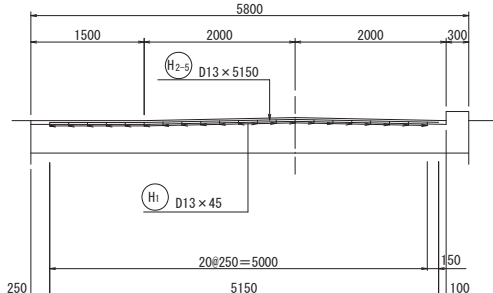


PL 121.4×0.8×7000(SUS) : A1橋台
PL 121.4×0.8×4000(SUS) : P1橋脚
PL 121.4×0.8×5500(SUS) : A2橋台

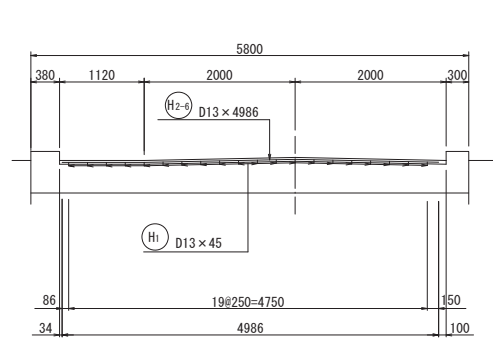
A2橋台
F-F



A2橋台
E-E



A2橋台
D-D



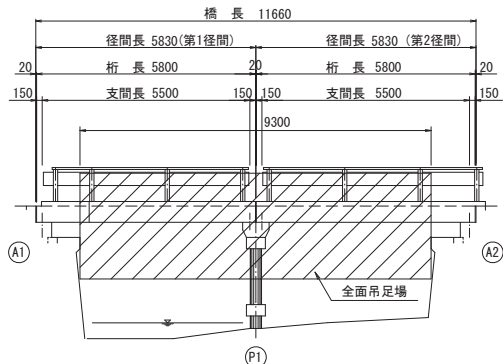
宮前橋(市道追子2号線・浜島町追子地内)

工事名	令和元年度 第2A1浜001号 社会資本整備総合交付金事業 宮前橋他1橋 橋梁修繕工事		
図面名	修繕工詳細図 (3)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	7 4
会社名			
事務所名	志 摩 市		

仮設足場工 参考図

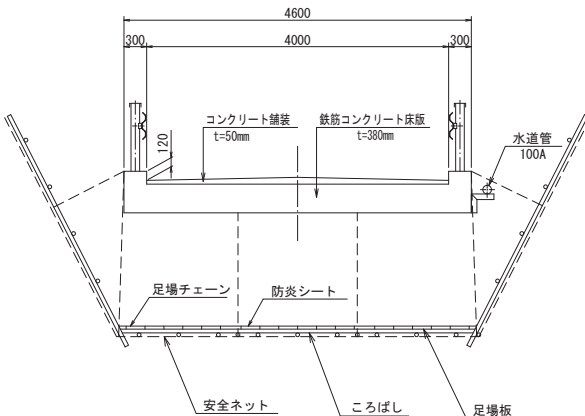
側面図

S=1:100



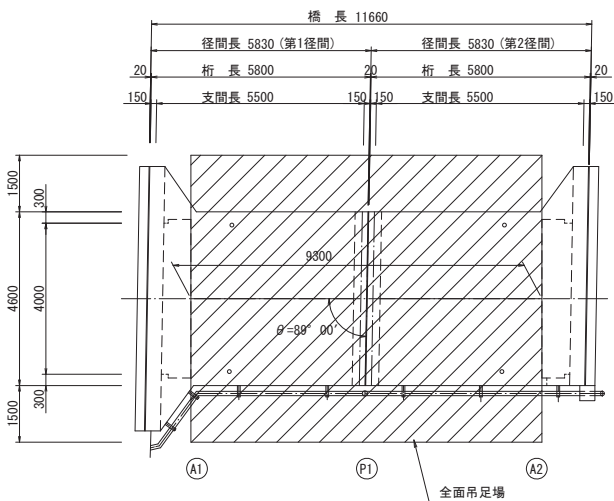
断面図

S=1:50



平面図

S=1:100



宮前橋（市道追子2号線・浜島町追子地内）			
工事名	令和元年度 第2A1浜001号 社会資本整備総合交付金事業 宮前橋他1橋 橋梁修繕工事		
図面名	仮設足場工 参考図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	- 葉之内 -
会社名			
事務所名	志摩市		